



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場会社名 名鉄運輸株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 9077 URL <http://www.meitetsuunyu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 雄己  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 吉川 篤史 (TEL) 052(935)5721  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	45,515	△1.4	1,250	△1.2	1,231	△5.3	666	31.9
25年3月期第2四半期	46,139	9.9	1,266	△20.3	1,300	△17.1	505	△40.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 855百万円(92.5%) 25年3月期第2四半期 444百万円(△42.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
26年3月期第2四半期	円 銭 27 45	円 銭 —
25年3月期第2四半期	20 80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
26年3月期第2四半期	百万円 79,218	百万円 13,975	% 16.6
25年3月期	80,071	13,210	15.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 13,165百万円 25年3月期 12,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	円 銭 —	0 00	円 銭 —	円 銭 3 50	円 銭 3 50
26年3月期	—	0 00	—	3 50	3 50
26年3月期(予想)	—	—	—	3 50	3 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 91,500	% △0.9	百万円 2,100	% △8.4	百万円 1,900	% △16.0	百万円 700	% △9.4	円 銭 28 81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期2Q	24,402,991株	25年3月期	24,402,991株
26年3月期2Q	107,097株	25年3月期	106,275株
26年3月期2Q	24,296,241株	25年3月期2Q	24,299,558株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緊急経済対策による公共投資の増加や、米国経済の堅調な成長及び円安による輸出環境の改善などによって企業収益が改善基調となったことに加え、アベノミクスへの期待感から消費が順調に増加するなど、緩やかな回復傾向となりました。

物流業界におきましても、先行して高まった景気回復への期待感による押し上げ効果が实体经济にも波及しはじめたことにより、貨物輸送量は当初の見通しに比べ持ち直しの動きが見られるようになりましたが、円安の進行による軽油価格の高騰など、コスト面では厳しい状況となりました。

当社グループでは、このような経済環境の中で、新中期経営計画の2年目として、より利益の拡大を目指した施策を展開しました。

営業面におきましては、下落基調が続く運賃の是正に向け、貨物重量に応じた適正運賃の収受や、利益が確保できる運賃契約への見直しを展開しました。また、グループ会社間の最適化を目指して各社の強みを生かした営業・業務・配送ノウハウを総合し、顧客に対して営業深化を図りました。

また、グループ内で重複する集配エリアの解消を引き続き進めるとともに、これまでグループ各社ごとに開発してきた業務・輸送システムを一本化してITの全体最適化を図るため、名鉄トラックグループ各社の合同プロジェクトとして情報システム開発室を立ち上げました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比1.4%減の45,515百万円となりました。営業利益は前年同期比1.2%減の1,250百万円となり、経常利益は前年同期比5.3%減の1,231百万円となりましたが、多額の投資有価証券評価損を計上した前年同期と比較して特別損失が減少したことにより四半期純利益は前年同期比31.9%増の666百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

## (貨物自動車運送事業)

貨物自動車運送事業では、日用品や食料工業品などの消費関連貨物の取り扱いが回復したほか、建設関連貨物の取り扱いも順調に推移しました。これに適正運賃収受の取り組みやグループ総合営業による効果も加わって、売上高は前年同期比1.0%増の40,401百万円となりましたが、委託料や燃料費の増加などにより、売上総利益は前年同期比4.8%減の2,665百万円となりました。

## (航空利用運送事業)

航空利用運送事業では、国内航空貨物や音楽関係の取り扱いが大幅に減少したことなどにより、売上高は前年同期比7.0%減の3,810百万円となりました。一方で店所の統廃合によって人件費や委託料などが減少して、売上総利益は前年同期比25.7%増の196百万円となりました。

## (流通事業)

流通事業では、個人消費の回復や猛暑の影響を受け、飲料、日用雑貨メーカーやコンビニ関連の取扱いは好調でしたが、一部子会社の流通加工事業からの撤退や、メーカーの生産調整の影響もあって請負業務が減少しました。この結果、売上高は前年同期比23.5%減の2,145百万円、売上総利益は前年同期比19.3%減の224百万円となりました。

## (その他)

その他の事業では、新規の賃貸開始などにより、売上高は前年同期比19.1%増の74百万円となり、売上総利益は前年同期比23.5%増の56百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## [資産の部]

流動資産は、前連結会計年度に比べて775百万円減少し、14,617百万円となりました。これは、受取手形及び営業未収入金が859百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度に比べて78百万円減少し、64,600百万円となりました。これは、減価償却などにより有形固定資産が146百万円減少したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間の資産合計は、前連結会計年度に比べて853百万円減少し、79,218百万円となりました。

## [負債の部]

流動負債は、前連結会計年度に比べて3,280百万円減少し、37,244百万円となりました。これは、短期借入金が2,057百万円、預り金や未払費用の減少などによりその他が1,130百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度に比べて1,661百万円増加し、27,997百万円となりました。これは、長期借入金が1,452百万円増加したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べて1,618百万円減少し、65,242百万円となりました。

## [純資産の部]

純資産合計は、前連結会計年度に比べて765百万円増加し、13,975百万円となりました。これは、主として利益剰余金が581百万円増加したことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の業績予想につきましては、平成25年5月9日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

なお、今後、業績予想に大きな変化がある場合には適時に開示してまいります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	553	538
受取手形及び営業未収入金	13,358	12,499
有価証券	2	2
貯蔵品	187	211
繰延税金資産	388	448
その他	939	949
貸倒引当金	△37	△31
流動資産合計	15,392	14,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	35,631	34,862
減価償却累計額	△23,927	△23,537
建物及び構築物(純額)	11,703	11,325
機械装置及び運搬具	25,539	25,298
減価償却累計額	△18,123	△17,509
機械装置及び運搬具(純額)	7,415	7,789
土地	38,239	38,157
リース資産	1,183	1,160
減価償却累計額	△831	△857
リース資産(純額)	351	302
その他	1,388	1,358
減価償却累計額	△1,020	△1,003
その他(純額)	367	354
有形固定資産合計	58,077	57,930
無形固定資産		
リース資産	119	65
その他	518	565
無形固定資産合計	637	631
投資その他の資産		
投資有価証券	2,403	2,660
長期貸付金	78	77
繰延税金資産	1,112	1,081
その他	2,462	2,304
貸倒引当金	△92	△84
投資その他の資産合計	5,964	6,039
固定資産合計	64,679	64,600
資産合計	80,071	79,218

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	9,088	8,517
短期借入金	19,968	17,910
1年内返済予定の長期借入金	5,597	5,639
リース債務	189	125
未払法人税等	260	694
賞与引当金	234	301
その他	5,186	4,055
流動負債合計	40,525	37,244
固定負債		
長期借入金	14,799	16,252
リース債務	217	176
繰延税金負債	314	319
退職給付引当金	7,474	7,766
役員退職慰労引当金	153	111
資産除去債務	595	600
再評価に係る繰延税金負債	2,366	2,366
その他	414	404
固定負債合計	26,336	27,997
負債合計	66,861	65,242
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,065	2,065
資本剰余金	1,534	1,534
利益剰余金	6,703	7,284
自己株式	△20	△20
株主資本合計	10,283	10,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	424	589
土地再評価差額金	1,711	1,711
その他の包括利益累計額合計	2,135	2,300
少数株主持分	791	810
純資産合計	13,210	13,975
負債純資産合計	80,071	79,218

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	46,139	45,515
売上原価	42,910	42,424
売上総利益	3,228	3,090
販売費及び一般管理費		
人件費	1,052	986
施設使用料	299	286
その他	610	567
販売費及び一般管理費合計	1,962	1,840
営業利益	1,266	1,250
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	41	44
持分法による投資利益	6	5
受取手数料	33	30
補助金収入	78	5
貸倒引当金戻入額	1	—
その他	55	45
営業外収益合計	218	132
営業外費用		
支払利息	173	137
その他	11	14
営業外費用合計	184	151
経常利益	1,300	1,231
特別利益		
固定資産売却益	74	118
負ののれん発生益	26	—
その他	7	15
特別利益合計	108	134
特別損失		
固定資産処分損	29	85
減損損失	59	3
投資有価証券評価損	171	1
その他	7	5
特別損失合計	268	95
税金等調整前四半期純利益	1,141	1,269
法人税、住民税及び事業税	758	685
法人税等調整額	△154	△104
法人税等合計	604	581
少数株主損益調整前四半期純利益	537	688
少数株主利益	31	21
四半期純利益	505	666



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	537	688
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92	167
その他の包括利益合計	△92	167
四半期包括利益	444	855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	417	831
少数株主に係る四半期包括利益	26	24

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,141	1,269
減価償却費	1,574	1,561
減損損失	59	3
負ののれん発生益	△26	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△22	△14
賞与引当金の増減額(△は減少)	40	66
退職給付引当金の増減額(△は減少)	210	292
受取利息及び受取配当金	△43	△46
支払利息	173	137
持分法による投資損益(△は益)	△6	△5
固定資産除却損	4	10
固定資産売却損益(△は益)	△72	△46
投資有価証券評価損益(△は益)	171	1
売上債権の増減額(△は増加)	799	867
仕入債務の増減額(△は減少)	△366	△570
その他	△356	△958
小計	3,280	2,569
利息及び配当金の受取額	43	47
利息の支払額	△172	△139
法人税等の支払額	△1,290	△132
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,861	2,344
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,403	△1,769
有形固定資産の売却による収入	244	190
無形固定資産の取得による支出	△27	△84
投資有価証券の取得による支出	△8	△5
貸付けによる支出	△1	△0
貸付金の回収による収入	1	2
子会社株式の取得による支出	△8	—
その他	15	96
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,187	△1,571
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	667	△2,064
長期借入れによる収入	1,360	4,460
長期借入金の返済による支出	△2,559	△2,965
リース債務の返済による支出	△188	△126
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△60	△85
少数株主への配当金の支払額	△5	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△787	△787
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△114	△15
現金及び現金同等物の期首残高	554	506
現金及び現金同等物の四半期末残高	440	491

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	貨物 自動車 運送事業	航空利用 運送事業	流通事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	39,258	4,033	2,783	46,076	62	46,139	—	46,139
セグメント間の内部 売上高又は振替高	740	63	21	825	—	825	△825	—
計	39,999	4,097	2,805	46,901	62	46,964	△825	46,139
セグメント利益	2,799	156	278	3,234	45	3,280	△52	3,228

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	貨物 自動車 運送事業	航空利用 運送事業	流通事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	39,574	3,738	2,127	45,440	74	45,515	—	45,515
セグメント間の内部 売上高又は振替高	827	71	17	915	—	915	△915	—
計	40,401	3,810	2,145	46,356	74	46,431	△915	45,515
セグメント利益	2,665	196	224	3,087	56	3,144	△53	3,090

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。